

MITO MAIL NEWS

2020.11.16
067号



守られるのは
安全か？
効率か？

前号で紹介したように、水戸支社内の駅無人化・業務委託化はかなり加速して行われている。さらに、水戸線では会社の施策推進により「中編成ワンマン運転」が実施されようとしている。駅員も車掌もない状況で果たしてすべての旅客が安全に安心して利用できるのだろうか？では、現状の水戸線各駅の状況はどうだろうか？駅の設備状況は以下の通り

友部	宍戸	笠間	稲田	福原	羽黒	岩瀬	大和	新治	下館	玉戸	川島	東結城	結城	小田林	小山
直営	簡易	委託	簡易	簡易	無人	委託	無人	無人	直営	委託	委託	無人	委託	無人	直営
EVあり	スロープあり カーブがある駅！	EVあり	列車との段差あり！ (上り)階段のみ	列車との段差あり！ (上り)階段のみ	階段のみ	列車との段差あり！ (上り)階段のみ	入り口に階段あり	列車との段差あり！ (上り)階段のみ	EVあり	スロープあり	(下り)階段のみ	入り口に階段あり 列車との段差あり！	エスカレーターあり	入り口に階段あり 列車との段差あり！	EVあり

このように、現状では駅員の介助を必要としなければ**安全の確保が困難な駅が多数存在**している。しかし、会社はこの間、宍戸・羽黒・新治駅の無人化、各委託駅の要員減による営業時間の短縮を行ってきたのだ。(宍戸駅はのちに簡易委託駅となる)

一体「安全第一」と言っていたJR東日本はどこに消えていってしまったのだろうか？
私たちは、労働組合として「いのち」を守っていく使命があります！

もちろん利用するお客さまの命も守っていかねばいけません！

安全を度外視に施策を進めている暴走JR東日本会社を止めるために、私たちは行動していきます！